

12月4日から10日までは人権週間です。

あなたは生きるための自由や権利を奪われたり、侵害されたことはありませんか。

人権侵害のひとつに部落差別があります。同和地区（被差別部落）に住んでいた

り、その出身というだけで交際や結婚などに不当な扱いを受けたり、旧身分の賤称を言われたりすることです。また態度や言葉で表わさなくとも同和地区出身者に対して、偏見やこだわりを持っている人がいます。

これは、江戸時代に身分制度がつくられ、住む場所や職業が規制されたうえ、周辺の農民や町民との交流も制限されていたことが、同和地区への偏見や差別意識を生み、明治以降の身分制度廃止後もそのような意識が残ってしまったものといわれています。



ご存知ですか？ 同和問題

現在でも、同和地区について誤った認識をもった人がいます。しかし、正しい理解がされれば、人を差別したり、こだわりのもつことがおかしなことがわかるはず。人権尊重の基本は、お互いの人権を認めることではないでしょうか。

特設人権相談所の開設
■ 12月8日(木)午前10時～午後3時
■ 中央公民館

ボランティアの皆さんが 桜の枝払い



「あのままでは、美しい花を見ることができない」と11月15日、25名のボランティア

サングのようのにびた枝は一本一本きれいに切り落とされました

アの皆さんが、一号線沿いの桜並木の手入れを行いました。これは渡辺功さん（社会福祉協議会長）が、ボランティアグループや老人クラブに声をかけ実現したものです。また、町内にある老人ホームの所長をはじめ入所者の皆さんも「社会奉仕ができれば」と積極的に参加。一日がかりで枝払いから草刈りまできれいにやってくれました。

「桜を守る会」として始めたこの仕事。善意の輪が芽吹くのは来年4月。きれいに咲いた桜並木に新入児童の姿を見ることができましょう。

おにいちゃんありがとう



園児たちがいもほり

町内にある4つの保育所の園児たちが、10月28日一斉にいも掘りを行いました。農業振興会青年部のみなさんが、子どもたちに収穫の喜びを味わってもらおうと、栗山の田島さんの畑を借り植えたものです。いもの手ごたえ十分とあって、どの顔も喜色満面。帰りには、小さな大黒様があつちこつちに見られました。

昭和64年度保育所入所申請受付は1月下旬に行ないます。